

Global Education Network for Sustainable Future Hiroshima (GENS)

～ グローバルな視野とローカルな視点からの学び ～

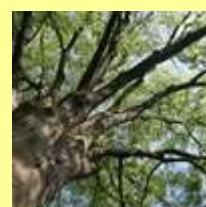
Newsletter No.6
2014.5.12.

事務局 kyoikujuku.hiroshima@gmail.com
URL <http://genshiroshima.web.fc2.com/>
〒730-0030 広島市中区鞆町6番30号
広島市まちづくり市民交流プラザ内 メールボックスNo.7

地球市民共育塾ひろしま



Have a Dream...
Do the Action!
for
the Better Future



世界中の人々が一人ひとり幸せに生きられる。そんな社会を願う人々の「出会い」と「学び」と「行動」の場です。「貧困」「難民」「食」「平和」「ジェンダー」「教育」。取り扱うテーマも十人十色。「開発教育」に関心のある人なら、だれでも参加できます。参加型の学習会を定期的に行っています。

～ あなたも**地球市民共育塾ひろしま**で一緒に学びませんか？ ～



国連ESDの10年ってなあに？

2002年のヨハネスブルグサミット（持続可能な開発に関する世界首脳会議）において、日本はNGOと政府が共同して、持続可能な社会を実現するために世界中で人づくりに取り組むことを提案しました。これを受けて2005年から2014年までの期間を「国連持続可能な開発のための教育の10年」（「国連ESDの10年」）とし、世界各地で持続可能な社会を担う人づくりに取り組んできました。

「国連ESDの10年」の最終年にあたる2014年には、提案国である日本において最終年会合が開催されます。

本年11月11日（火）から14日（土）に、岡山市でESD最終年会合の一環として位置づけられるユネスコスクール世界大会や各種ステークホルダーの会合が開催されます。また、11月10日（月）～12日（水）には名古屋市において、持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議や、閣僚級会合などが開催されます。

平和都市広島から考える持続可能な開発のための教育 ～事例から学びあうワークショップ～

1	日 時	2013年12月14日(土) 10:00～16:00
2	会 場	ひろしまNPOセンター(県民文化センター)
3	主 催	特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会
4	共 催	地球市民共育塾ひろしま
5	後 援	日本NPO学会, 県立広島大学人間文化学部国際文化学科

今年、持続可能な開発のための教育(ESD)のための国連の10年が満了を迎えます。実践の成果を振り返り、今後ESDで扱う領域をさらに広げ、ネットワーキング・情報交換を通じてESDの質向上につなげようと事例から学びあうワークショップが、特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会の主催、地球市民共育塾ひろしまの共催により開催されました。広島、北九州、関西のNPO、市民団体などから約15人が参加しました。

特定非営利法人のこれからの学びネットワーク, ANT-Hiroshima, 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム, 地球市民共育塾ひろしまの4団体がそれぞれプログラム(平和, デートDV)の事例発表と質疑応答を行い、発表後に参加者が桃色の付箋に「いいね!」(特に良いと思った点), 黄色の付箋に質問を記入しました。参加者を4班に分け、各団体向けの付箋をキーワードで整理、成果を複眼的に分析し、全体で共有し今後の展望を深めました。このワークショップを通じて、団体・個人間の実践共有・学びあいの場づくりの重要性と共に、これらの活動に携わる人達の情熱とそれがもたらす相乗的な効果を改めて実感しました。今後このようなつながりをさらに大切に行きたいと思えます。



事例発表「スタートラインに立ってみよう」の様子



「ESDグッドプラクティスの収集・評価・顕彰事業」

関西国際交流団体協議会は平成25年度愛・地球博継承理念発展助成金事業をうけて、「ESDグッドプラクティスの収集・評価・顕彰事業」を実施しています。

この事業では、各地域で実施されているESDの研究・調査を行い、広く収集した事例から特に「グッドプラクティス」として取り組みを紹介するプロセスを通じて、継続・活性化を図り、実施団体や教育機関にフィードバックしてESDの質の向上と普及を図ろうとするものです。

第10回開発教育全国ネットワーク会議

2014年3月1日(土)～2日(日) 於；立教大学

毎年3月に、開発教育協会の主催で全国の開発教育関係者が集う開発教育全国ネットワーク会議が開催されています。今回、地球市民共育塾ひろしまから参加していただいた舟木耕太さんに今年の全国会議の様子を報告してもらいました。

地球市民共育塾ひろしま 舟木耕太

最初に行われたMDGsとESDについての講義では、現在世界や日本がどこに向かおうとしているのか、そして日本の国内レベルでどのような取り組みがなされているのか質疑応答も交えて理解を深めることができた。印象的だった言葉が「危機も危機と認識されなければただの現象」という言葉だ。無関心層が多数いる中、その人々にどうアプローチしていくかが大切だと思った。

その後の実践共有では、実際に「アプローチ」している実践者と悩みやアイデアを共有できた。参加者のエネルギーにこちらも元気が出たし、自分自身も「実践者」なのだと実感することができた。ネットワークをつくるために、まずは目的があってこそ。何のためにつながりたいのかが大切なのが大切。つながりが切れないコツは、また来たいと思える場にする、絶対に孤立させない、一人ぼっちにしないこと、たくさんの人と仲良くすること。バニヤンツリーの藤本さんの話は、地域ネットワークに限らず、どのようなネットワークを作る上でも大切だと思った。これから教師として、「どれだけ弱い立場の人のことを考えられるか」という視点を大切に、もっとたくさんの人とのつながりを築いていこうと思う。

青年海外協力隊としての派遣前に、本当に貴重な学びの場であった。2年後に、周りを巻き込める人、周りにつながれる人に成長して帰ってきたい。



「多文化共生」教材づくり学習会

2014年3月29日(土) 於；サテライトキャンパスひろしま

地球市民共育塾ひろしまでは、広島「多文化共生」をテーマとした新しい参加型の教材づくりに向けて、学習会を続けています。

昨年の12月に続いて、3月29日にも、広島の夜間中学校の先生を講師とした学習会を行いました。多文化化の進みつつある夜間中学校の現場や生徒さんたちの生活の現実の中から見えてくるものについて、現場の先生からお話を聞かせていただきました。

これから作成する教材の内容について、どのような内容が必要なのかを考えていきました。



～地球市民共育塾ひろしま発行の刊行物一覧!～



年次報告書

連続講座の記録

教材集・研究成果報告書



地球市民共育塾ひろしまのご案内

私たち、**地球市民共育塾ひろしま**は、開発教育・国際理解教育・地球市民教育の学びあいを目的とした市民サークルです。

参加型の活動を取り入れたワークショップを通して、参加者が共にグローバルな視野やローカルな視点から考え合い、学び合う活動を行っています。

現在、共育塾のメーリングリストには 160 人以上の会員が登録しています。その職業も、教職員、会社員、NGO 関係者、国際協力関係者、研究者、大学生・院生とたいへん多様です。

共育塾の主な活動は、例会ワークショップの開催、参加型のオリジナル教材づくり、「広島市まちづくり市民交流フェスタ」にワークショップ企画による参加、「広島市国際交流・協力の日」への展示ブース出展、他団体との協働事業などです。講師派遣にも対応しています。

共育塾のワークショップなどの案内をご希望の方は、本会のホームページをご覧のうえ、本会の事務局アドレス宛にまでお問い合わせください。

地球市民共育塾ひろしま 概略

■活動年譜

- 1993 年 「広島開発教育研究会」設立。
- 1996 年 「地球市民共育塾ひがしひろしま」設立。
- 2005 年 「地球市民共育塾ひろしま」設立。現在に至る。

■加盟団体・機関等

- ・国際交流ネットワークひろしま(財団法人広島平和文化センター内)会員。
- ・ひろしま国際交流サミット(財団法人ひろしま国際センター内)会員。
- ・開発教育協会(DEAR)「開発教育パートナー団体」。

■刊行物

- ・『地球市民共育塾ひろしま年次報告』(2005, 2006, 2007, 2008, No.5)。
- ・『中国地区開発教育担い手連携・スキルアップ連続講座報告書』。
- ・教材集『参加型で学ぶ「広島」「ヒロシマ」「Hiroshima」』(県立広島大学との共同事業)。

■ホームページ等

- ・ホームページ URL <http://genshiroshima.web.fc2.com/>
- ・ブログ URL <http://blogs.yahoo.co.jp/kyoikujuku2006/>
- ・face-book ・twitter @kyoikujuku